

都市再生整備計画 事後評価シート
平和公園地区

平成29年3月

長崎県 長崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県	市町村名	長崎市	地区名	平和公園地区			面積	86.47ha			
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	468.3百万円	国費率	0.40					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道松山町大橋町線、市道橋口町9号線、市道橋口町10号線、市道平野町橋口町2号線 【地域生活基盤施設】案内板、誘導板 【高質空間形成施設】平和公園東地区、西地区									
		提案事業	【地域創造支援事業】よみがえる川整備事業(下の川都市下水道)、トイレ整備事業(平和公園東地区[祈念像地区]) 【事業活用調査】事業効果分析調査(平和公園地区)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】市道橋口町9号線、市道橋口町10号線	削除/追加の理由		地元調整の結果、整備内容が維持補修的なものになったことから、採択要件を満足しないため(別事業で実施予定)				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	なし	
		提案事業	【道路】市道平野町橋口町2号線	削除/追加の理由		地元との協議において、通学路における安全確保のための早期着工完成を求められ、別事業で実施することとしたため				なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	-	削除/追加の理由		-				-		
		提案事業	-	削除/追加の理由		-				-		
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							-		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	平和町商店街の歩行者通行量(休日)	人	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	1,731	H24	1,820	H28	モニタリング			
	指標2	平和公園地区内の定住人口	人	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	6,326	H24	6,200	H28	モニタリング			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	平和町商店街の歩行者通行量(平日)	人	2,443	H24							
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
	その他の数値指標4											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 整備後、平和公園地区に住む住民を対象としたアンケート調査を行った結果(サンプル:151名)、まちづくりの目標1(観光客が回遊しやすいまちづくり)、目標2(安全で快適に住み続けられるまちづくり)に対していずれも80%以上が「効果がある」「少し効果があった」と回答した。 同アンケート調査において、各整備における環境の変化に対して、いずれも80%以上が「良くなった」「少し良くなった」と回答した。 平成21年度～平成25年度の整備後、平和公園利用者を対象とした平和公園の整備に関するアンケート調査を行った結果(サンプル:100名)、整備に対する満足度において、「満足している」、「やや満足している」という回答が、全体の92%という好評価が得られた。 											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	該当なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民による下の川の清掃活動(月1回) ワークショップ(年5回程度)による、公共事業への住民意見の反映 		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後とも地域住民参加による清掃活動やワークショップを継続して実施する。				
持続的なまちづくり体制の構築	該当なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

様式2-2 地区の概要

平和公園地区(長崎県長崎市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	評価値	評価
大目標: 平和都市ナガサキを象徴する地区として、観光客並びに地域住民が利用しやすく、親しみやすいまちなみの整備	平和町商店街の歩行者通行量(休日)	単位: 人	1,731	H24	1,820	H28	1,735	H28
目標1 観光客が回遊しやすいまちづくり	平和公園地区内の定住人口	単位: 人	6,326	H24	6,200	H28	6,425	H28
目標2 安全で快適に住み続けられるまちづくり								

■地域生活基盤施設: 案内板設置 (平和公園東地区)



■高質空間形成施設: ベンチ改修 (平和公園西地区)



■トイレ整備事業: トイレ改修



■提案事業:(市)(H24~H25)
トイレ整備事業

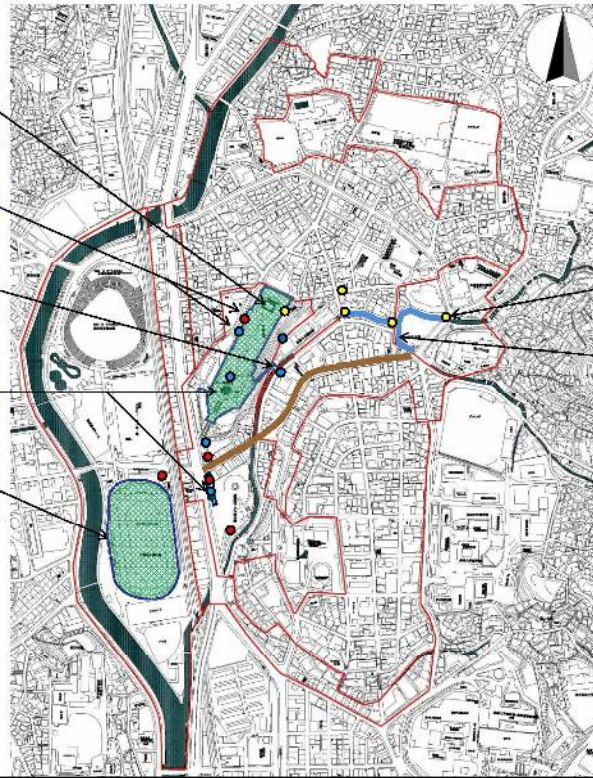
■基幹事業:(市)(H24~H28)
地域生活基盤施設(案内板)

■基幹事業:(市)(H28)
市道松山町大橋町線道路改良工事

■基幹事業:(市)(H24~H27)
高質空間形成施設(平和公園東地区)

■基幹事業:(市)(H24~H25)
高質空間形成施設(平和公園西地区)

■提案事業(市)(H28)
事業効果分析調査



■基幹事業:(市)(H28)
地域生活基盤施設(誘導板)

■提案事業:(市)(H24~H25)
仮称:よみがえる川整備事業

凡 例

- 対象区域(景観形成重点地区)
- 基幹事業
- 提案事業
- 地域創造支援事業
- 道路事業
- 地域生活基盤施設(公園案内板)
- 地域生活基盤施設(地域案内板)
- 地域生活基盤施設(誘導板)
- 高質空間形成施設

■高質空間形成施設: 舗装・植栽等改修 (平和公園中心地区)



舗装・植栽等改修(平和公園東地区)



■よみがえる川整備事業: 下の川都市下水道路修景整備



まちの課題の変化

・商店街通りにおいて、地域住民の快適性の向上、観光客等の回遊性の向上に寄与する歩行空間の環境改善に向けた整備の早期完成に取り組む。
 ・地区内の観光施設を回遊するルートがわかりにくい状況にあったが、総合案内板等を適正な場所に配置することで、回遊するルートがわかりやすくなった。
 ・平和公園内においては、安全・快適に利用できる環境となっていない状況にあったが、園路やベンチ、誰でも使える多目的トイレ等の改修を行うことで、安全・快適に利用しやすい環境が整った。
 ・地域内を流れる下の川においては、コンクリート3面張りにより無機質で潤いが感じられない環境であったが、改修により水辺には植物が植生し、魚やカニが生息するよう等、多自然型の快適で環境にやさしい空間が形成された。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

・更なる回遊性の向上を図るために、拠点間を結ぶ動線や沿線環境の改善を図る。
 ・公園内施設の老朽化も進んでいることから、回遊路の整備に併せ、安全・快適に利用しやすい施設整備を行うことで、公園の利用促進を図る。
 ・観光客が回遊しやすくなるようなソフト的な対策も検討する。
 ・地区内の魅力を顕在化すると共に、夜間でも安心・快適に歩けるような照明の整備を検討する。
 ・整備された多目的トイレを利用しやすくするために、トイレの表示や案内等、場所がわかりやすくする方法を検討する。
 ・下の川について、更なる親水空間を目指して、流速が早い中での緑化方法、人が水辺に近づけるような環境整備について検討する。